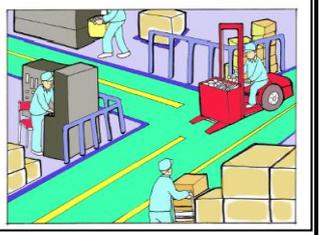
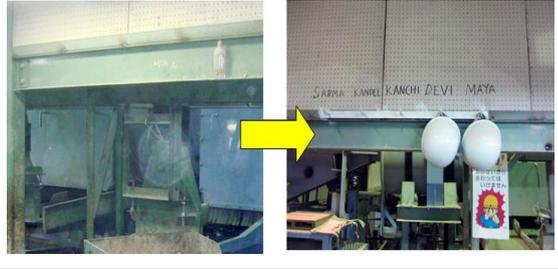
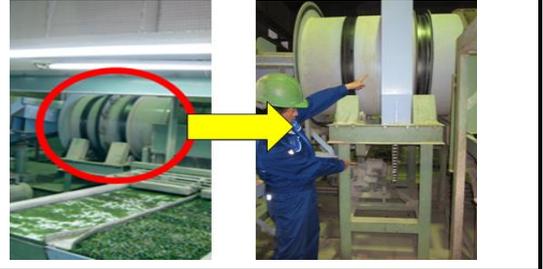


PAOT を活用した外国人労働者のための参加型職場改善活動			
ガイドラインステップ	キーワード (6 つ以内)	・外国人労働者 ・参加型職場環境改善 ・PAOT	・中小規模事業場 ・継続的な取り組み ・外部資源との協働
1・2・4・7-9。			
改善・取組みの背景と課題	<p>日本の外国人労働者数は約 70 万人 (H23.10 月末) で増加傾向にあり、多くが製造業、30 人未満の小規模事業場で働いている。外国人労働者は、産業安全保健上課題の多い脆弱な労働者集団と考えられており、文化的背景や言語の違いによるコミュニケーションの問題、医療・福祉サービスへの近接性の問題、非正規雇用の場合は雇用の不安定さ等、雇用継続、安全・健康の確保など多くの課題が指摘されている。また、外国人労働者が多く雇用されている小規模事業場では、産業安全保健を推進する人的・物的リソースに一定の制限もあり、実効的な取り組みが困難な現状がある。</p> <p>外国人労働者のための参加型職場環境改善プログラムを導入した A 社 (ガラスリサイクル業) は、ガラスの選別作業や屋外資材集積場での車両運転時の労働災害が多く発生する職場であった。研究機関、NPO との 1 年間の技術支援による参加型職場環境改善プログラム導入の後、自主的な職場環境改善活動へと発展した。</p>		
改善・取組みの着眼点	<p>参加型職場環境改善プログラムの目的は、安心、安全で健康的な職場づくりのための職場環境を改善し労働災害を削減すること、外国人労働者の産業安全保健活動への参加を促進することとした。外国人労働者のための参加型職場環境改善プログラムを研究機関・NPO の技術支援のもと開発導入し、継続的な産業安全保健の取り組みを目指した。</p> <p>参加型職場環境改善プログラムの枠組みは、参加型対策指向トレーニング (以下、PAOT: Participatory action-oriented training) 方法論を用いた。外国人労働者自身が自主的に安全や健康的な職場環境づくりに取り組めるよう参加型アプローチで、良好事例に基づいた低コストで実際的な解決策への取り組みを重視した。</p> <p>外国人労働者が容易に理解できるようにプログラムで用いる資料は、文章を平易な日本語で表現し、多言語に翻訳する。職場環境改善アクションチェックリスト (以下、ACL) や良好事例集は、イラストや写真など視覚教材を多く用いた。</p>		
改善・取組みの概要	<p>① 参加型職場環境改善のためのワークショップを 3 回開催 (2Hr/回) し、出席可能な外国人労働者全員と安全衛生推進者が参加した。プログラムは、導入・中間フォローアップ・最終ワークショップで構成した。</p> <p>② ワークショップでは、ACLと良好事例写真集を活用して職場や同業種の良い事例を共有した。毎回のワークショップでは、安全や健康に関連したゲームを実施し、参加者の興味や関心を継続する工夫を試みた。また、小グループ単位で職場の良い点と改善点をグループ討議し、次のワークショップ (最終ワークショップでは、次年度) までに自分たちで取り組みたい改善計画について話し合い発表した。</p> <p>③ 参加型職場環境改善プログラムの評価は、各ワークショップ実施前後の職場環境改善件数と労働災害発生状況を集計した。また、外国人労働者の産業安全保健への参加状況を職場で実施した改善活動への関与と産業衛生推進者へのヒヤリング調査で把握した。</p>		

<p>写真・図表・イラスト</p>	<p>◆多言語でイラストを用いたアクションチェックリスト(左:ネパール語, 右:スペイン語)</p>		
	<p>A. सामानको वसारपसार र भण्डारण तरीका</p> <p>1. हिङ्गुल गर्न सजिलो बाटो निर्धारण गरी प्रस्त बुझ्न राख्ने</p> <p>यो सुधारको प्रस्ताव पेश गर्नु हुन्छ?</p> <p><input type="checkbox"/> गर्दिन <input type="checkbox"/> गर्दु <input type="checkbox"/> प्राथमिकता</p> <p>मेमो _____</p>	<p>● El transporte y el cuidado de materiales</p> <p>1. Distinguir y señalar el pasillo.</p> <p>¿Esta proposición de mejoramiento es necesaria?</p> <p><input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> Sí <input type="checkbox"/> Prioridad</p> <p>Nota</p>	
	<p>◆ヘルメット置き場と危険表示の設置</p>	<p>◆回転部のガード設置</p>	
			
<p>効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 導入ワークショップ後に 12 件、中間フォローアップ後に 13 件の職場環境改善が実施され、施設の改良や安全装置の設置などの改善は外国人労働者自身の手で実施されていた。 2) 研修前 6 か月間の災害発生件数は 4 件(のべ休業日数 204 日)に対して、研修後 6 ヶ月間の災害発生件数は 0 件で経過している。 3) 安全衛生推進者から、「安全に関心のなかった外国人労働者が耳栓や手袋をきちんと着用するようになった」「新しく入った仲間に安全な作業の手順を教えている」など主体的に産業安全保健に取り組むようになった外国人労働者の姿について肯定的な意見、次の改善活動への取り組みなど意欲的な意見が聞かれた。外国人労働者からも「他の国の労働者とケンカしなくなった」「新しく入った仲間に安全の大切さを伝えたい」との意見が聞かれた。 4) 1 年間の外部機関との技術支援・協働作業の後、A 社の自主的な取り組みとして職場全体での職場環境改善活動が継続している。 		
<p>この GPS の経験から学ぶことができるポイント</p>	<p>文化背景や言語の異なる外国人労働者であっても PAOT 方法論を活用した参加型職場環境改善を通じて、産業安全保健に対する意識が高まり、主体的な取り組みが継続できることが確認できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 職場ですでに取り組まれている良好事例を強みとして、問題指摘型でなく対策指向型の改善計画を支援する PAOT の方法論が労働者の前向きな改善への意欲を高めた - イラストや写真を多用した多言語の教材を用いて、外国人労働者の興味や関心を持続させ、職場環境改善の「できる感」を強化した - 低コストですぐに実行できる改善を積み重ね、定期的なワークショップで改善事例を成果として共有し、改善の「みえる化」をはかった 		
<p>参考資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) T. T. Khai, T. Kawakami, K. Kogi. (2011). International Labour Organization. Participatory Action-Oriented Training: cited from: http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/---sro-bangkok/documents/publication/wcms_169357.pdf 2) 吉川 悦子, 仲尾 豊樹, 毛利 一平(2012). 広がる良好実践(グッド・プラクティス)(15)外国人労働者のための参加型アプローチによる職場環境改善. 労働の科学 67(4)238-242. 		
<p>投稿者</p>	<p>吉川悦子・仲尾豊樹・毛利一平</p>	<p>e-mail</p>	<p>2012 年 12 月 10 日</p>